

## 平成21年3月期 第1四半期決算短信

平成20年7月30日

上場会社名 株式会社 オールアバウト  
 コード番号 2454 URL <http://corp.allabout.ir/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長兼CEO (氏名) 江幡 哲也  
 問合せ先責任者 (役職名) 経営企画部 ジェネラルマネジャー (氏名) 森田 恭弘  
 四半期報告書提出予定日 平成20年8月14日

上場取引所 JQ

TEL 03-5447-3700

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成21年3月期第1四半期の連結業績 (平成20年4月1日～平成20年6月30日)

#### (1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第1四半期	1,037		3		0		2	
20年3月期第1四半期	1,087		80		82		68	

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第1四半期	19.59	
20年3月期第1四半期	514.39	498.37

平成21年3月期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益は、四半期純損失を計上しているため記載しておりません。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
21年3月期第1四半期	3,753	3,266	87.0	24,329.57
20年3月期	4,114	3,247	78.9	24,280.70

(参考) 自己資本 21年3月期第1四半期 3,266百万円 20年3月期 3,247百万円

### 2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間	
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年3月期	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
21年3月期	0.00					
21年3月期(予想)		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

### 3. 平成21年3月期の連結業績予想 (平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期連結累計期間	2,010		80		80		90		678.73
通期	4,500	3.7	100	39.8	100	18.9	90		676.85

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

売上高、営業利益および経常利益の業績予想に変更はありませんが、新たに当期純利益および1株当たり当期純利益の予想を行っております。詳細は3ページ「定性的情報・財務諸表等」3. 連結業績予想に関する定性的情報をご参照ください。

### 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 有  
 新規 社(社名) ) 除外 1社(社名 株式会社KI&Company )  
 詳細は3ページ「定性的情報・財務諸表等」4. その他をご参照ください。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 無

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの)  
 会計基準等の改正に伴う変更 有  
 以外の変更 有  
 詳細は3ページ「定性的情報・財務諸表等」4. その他をご参照ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	21年3月期第1四半期	134,273株	20年3月期	133,743株
期末自己株式数	21年3月期第1四半期	株	20年3月期	株
期中平均株式数(四半期連結累計期間)	21年3月期第1四半期	133,826株	20年3月期第1四半期	132,544株

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他の特記事項

1. 業績予想については、平成20年5月1日に公表いたしました連結業績予想から、売上高、営業利益および経常利益の業績予想に変更はありませんが、新たに当期純利益および1株当たり当期純利益の予想を行っております。詳細は3ページ「定性的情報・財務諸表等」3. 連結業績予想に関する定性的情報をご参照ください。なお、当該予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報および将来の業績に影響を与える不確実な要因にかかわる本資料の発表日現在における仮定を前提としており、実際の業績は今後の様々な要因によって異なる可能性があります。

2. 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)および「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期財務諸表を作成しております。

## 定性的情報・財務諸表等

### 1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期におけるわが国の経済は、原油・穀物・原材料価格の高騰による物価上昇や米国経済の減速が、個人消費や外需への依存が大きい企業の収益に大きく影響し、景気の先行きに対する不透明感が一層増してきております。

こうした景気の先行きに警戒感が出る中、当社グループの主力事業であります広告ビジネスにおいては、引き続き業界全体の成長が見込まれる一方、景気減速による広告市況全般への影響により、広告主からの広告出稿額については鈍化が見られ、厳しい事業環境となりました。

こうした環境下で、当社グループは、前連結会計年度より引き続き、広告ビジネスにおける当社グループが運営するインターネットメディアと一体化した業界領域ごとの営業戦略に基づく事業展開（領域推進）、新規事業領域の収益化並びにインターネットにおけるメディアの強化及びモバイル領域等における新サービスの開発等を進めてまいりました。

この結果、当第1四半期の売上高は1,037百万円（前年同期比4.5%減）となりました。また、営業損失3百万円、経常損失0百万円、四半期純損失2百万円となりました。

当第1四半期におけるセグメント別の状況は以下のとおりであります。なお、当社グループは、当連結会計年度よりセグメント情報の開示における事業区分の変更を行い、これまで「インターネット広告事業」及び「出版事業」の2区分としておりましたが、中期事業方針の策定に伴う事業戦略の見直し等により、利益管理単位としての事業部を基準として、その収益モデルを中心とした事業特性等を考慮した「広告ビジネス」及び「専門家ビジネス」の2区分に変更いたしました。セグメント情報の開示における事業区分に関連する事項については、5. 四半期連結財務諸表（5）セグメント情報 a. 事業の種類別セグメント情報をご参照ください。

#### （広告ビジネス）

広告ビジネスは、従来、セグメント情報の開示における事業区分として、「インターネット広告事業」及び「出版事業」としていたものを統合したものであります。

当第1四半期における広告ビジネスは、景気減速による広告市況への影響を受け、広告主からの広告出稿額については鈍化が見られ、厳しい事業環境となりました。

このような状況の中、当社グループは、更なる領域深耕を目的とした領域推進を展開するとともに、広告代理店との連携を積極的に図り、販売力の強化に努めてまいりましたが、インターネット広告市場の成長の鈍化、景気全般の減速等により、広告ビジネスの売上高は、前連結会計年度を下回る906百万円（前年同期比10.4%減）となりました。

#### （専門家ビジネス）

専門家ビジネスは、従来、セグメント情報の開示における事業区分においては、金額的重要性の低いものとして「その他」に含めていた「ショッピング事業」、「プロファイル事業」及び「金融サービス事業」といった当社グループにおける新規系事業を統合したものであり、当社グループがネットワークしている専門家を通じて収益を稼得している事業であります。

当第1四半期における専門家ビジネスは、専門家ネットワークの強化及び拡大を進め、収益の増加に努めた結果、売上高が前連結会計年度を上回る131百万円（前年同期比74.5%増）となりました。

## 2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期末の総資産は、3,753百万円となり、前連結会計年度末と比較して、361百万円の減少となりました。

資産の部では、流動資産は3,194百万円となり、前連結会計年度末と比較して、345百万円の減少となりました。これは、主に未払費用の減少に伴い現金及び預金が228百万円減少したことなどによるものであります。固定資産は558百万円となり、前連結会計年度末と比較して大きな変動はありません。

負債の部では、流動負債は486百万円となり、前連結会計年度末と比較して、361百万円の減少となりました。これは、主に買掛金が62百万円、未払費用が227百万円減少したことなどによるものであります。固定負債は、株式会社KI&Companyを連結の範囲から除外したことにより、残高がなくなり、前連結会計年度末と比較して19百万円の減少となりました。

純資産の部は、3,266百万円となり、前連結会計年度末と比較して大きな変動はありません。

### (キャッシュ・フローの状況)

営業活動によるキャッシュ・フローは、173百万円の支出となりました。これは、主に未払費用が201百万円減少したことによるものであります。

投資活動によるキャッシュ・フローは、39百万円の支出となりました。これは、主に有形固定資産の取得に11百万円、無形固定資産の取得に19百万円支出したことによるものであります。

財務活動によるキャッシュ・フローは、18百万円の収入となりました。これは、ストックオプションの行使による株式の発行に伴うものであります。

以上の結果、現金及び現金同等物は、当第1四半期において194百万円減少し、2,620百万円となりました。

## 3. 連結業績予想に関する定性的情報

当第1四半期の業績は、当初の見通しを上回る水準で推移しております。一方で、第2四半期は、景気の減速感が強まり、第1四半期よりも厳しい状況も想定されることから、現段階では、平成20年5月1日発表時の売上高、営業損益及び経常損益に関する業績予想の修正は行っておりません。

なお、本資料において新たに第2四半期連結累計期間純利益及び連結当期純利益並びにそれぞれの1株当たり純利益の業績予想を発表しております。

当社は、平成20年5月1日に公表した前連結会計年度の決算短信において、公表時点において中期計画が策定中であり、当該中期計画において定める数値計画に基づく課税所得の見積もりが確定しないため、第2四半期連結累計期間純利益及び連結当期純利益を公表しておりませんでした。

しかしながら、今般、当社は、中期事業方針を策定したため、第2四半期連結累計期間純利益及び連結当期純利益を公表いたしました。なお、業績予想の詳細につきましては、本日別途開示する「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

## 4. その他

### (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

連結子会社でありました株式会社KI&Companyは、平成20年4月に事業撤退を決議し、連結子会社としての重要性がなくなったため、当社の連結の対象から除外しております。なお、当該会社は、平成20年6月30日に解散を決議し、清算手続きを開始しております。

### (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

### (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

### (4) セグメント情報の事業区分の変更

当第1四半期連結会計期間よりセグメント情報の事業区分を変更しております。詳細は8ページ「(5) セグメント情報」をご参照ください。

5. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成20年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,018,064	2,246,358
売掛金	473,063	568,104
有価証券	602,035	601,346
未成制作費	3,673	4,286
繰延税金資産	56,980	56,980
その他	41,659	63,661
貸倒引当金	△717	△718
流動資産合計	3,194,758	3,540,018
固定資産		
有形固定資産		
建物附属設備	36,072	38,121
工具、器具及び備品	105,664	117,449
有形固定資産合計	141,736	155,570
無形固定資産		
のれん	173,250	184,800
ソフトウェア	96,032	80,616
その他	6,801	15,940
無形固定資産合計	276,084	281,357
投資その他の資産		
投資有価証券	25,404	25,404
差入保証金	115,276	112,412
その他	4,342	4,279
貸倒引当金	△4,154	△4,091
投資その他の資産合計	140,868	138,004
固定資産合計	558,689	574,932
資産合計	3,753,448	4,114,951
負債の部		
流動負債		
買掛金	86,782	149,586
短期借入金	—	24,770
1年内返済予定の長期借入金	—	6,576
未払金	10,334	28,077
未払費用	263,567	490,964
未払法人税等	4,300	13,150
賞与引当金	28,357	62,631
ポイント引当金	2,542	1,824
その他	90,760	70,995
流動負債合計	486,644	848,576

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成20年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
固定負債		
長期借入金	—	19,002
固定負債合計	—	19,002
負債合計	486,644	867,578
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,169,625	1,160,500
資本剰余金	1,824,654	1,815,529
利益剰余金	272,523	271,343
株主資本合計	3,266,803	3,247,373
純資産合計	3,266,803	3,247,373
負債純資産合計	3,753,448	4,114,951

(2) 四半期連結損益計算書  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第1四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)
売上高	1,037,874
売上原価	180,323
売上総利益	857,550
販売費及び一般管理費	860,659
営業損失(△)	△3,109
営業外収益	
受取利息	2,772
その他	254
営業外収益合計	3,027
営業外費用	
株式交付費	75
その他	54
営業外費用合計	129
経常損失(△)	△211
特別損失	
固定資産除却損	255
特別損失合計	255
税金等調整前四半期純損失(△)	△466
法人税、住民税及び事業税	2,154
四半期純損失(△)	△2,621

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

当第1四半期連結累計期間  
(自 平成20年4月1日  
至 平成20年6月30日)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純損失(△)	△466
減価償却費	29,830
貸倒引当金の増減額(△は減少)	61
賞与引当金の増減額(△は減少)	△34,274
ポイント引当金の増減額(△は減少)	717
受取利息	△2,772
株式交付費	75
固定資産除却損	255
売上債権の増減額(△は増加)	30,331
たな卸資産の増減額(△は増加)	613
仕入債務の増減額(△は減少)	△4,706
未払消費税等の増減額(△は減少)	3,201
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△7,392
未払費用の増減額(△は減少)	△201,578
その他の流動負債の増減額(△は減少)	17,154
小計	△168,949
利息の受取額	2,772
法人税等の支払額	△6,886
営業活動によるキャッシュ・フロー	△173,063
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△11,613
無形固定資産の取得による支出	△19,780
差入保証金の差入による支出	△8,395
投資活動によるキャッシュ・フロー	△39,789
財務活動によるキャッシュ・フロー	
株式の発行による収入	18,175
財務活動によるキャッシュ・フロー	18,175
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△194,678
現金及び現金同等物の期首残高	2,847,704
連結除外に伴う現金及び現金同等物の減少額	△32,927
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,620,099

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

a. 事業の種類別セグメント情報

当第1四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年6月30日）

	広告ビジネス (千円)	専門家ビジネス (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高	906,353	131,520	1,037,874	—	1,037,874
営業費用	694,357	126,924	821,282	219,701	1,040,983
営業利益	211,996	4,595	216,591	△219,701	△3,109

(注) これまで事業の種類別セグメントについては、事業の内容をサービスの種類や性質、ビジネスプロセス等を基準に区分し、「インターネット広告事業」及び「出版事業」の2区分としておりましたが、当連結会計年度より当社グループにおける利益管理単位としての事業部及びその事業部ごとの収益モデル等の事業特性を基準として「広告ビジネス」及び「専門家ビジネス」の2区分に変更いたしました。

変更した事業の種類別セグメントのうち、「広告ビジネス」については、従来、セグメント情報の開示における事業区分として、「インターネット広告事業」及び「出版事業」としていたものを統合したものであります。この変更は、前連結会計年度末における㈱KI&Companyにかかる事業撤退及び今般の中期事業方針の策定に伴う事業戦略の見直しにより、当社グループにおける出版事業の位置づけを整理した結果、情報誌を当社グループが展開する「広告ビジネス」における一媒体として位置づけ、当社グループにおける利益管理単位としての事業部を基礎として、「広告ビジネス」をインターネット及び情報誌等のメディアの相乗効果により総合的に強化していくという事業戦略上の方針に基づくものであります。

また、「専門家ビジネス」は、従来、セグメント情報の開示における事業区分においては、金額的重要性の低いものとして「その他」に含めていた「ショッピング事業」、「プロファイル事業」及び「金融サービス事業」といった当社グループにおける新規系事業を統合したものであり、当社グループがネットワークしている専門家を通じて収益を稼得している事業であります。これらの事業は、これまで異なる事業区分として管理してまいりましたが、前述の中期事業方針において、事業の収益化及び強化・拡大を推進していく上での重要な要素として位置づけている専門家を通じた事業モデルという特性を基準として、1つの事業区分として管理することとしたものであります。

なお、前年同四半期のセグメント情報を当第1四半期連結累計期間において用いた事業区分の方法により区分した場合は下記の通りであります。

	広告ビジネス (千円)	専門家ビジネス (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高	1,011,890	75,385	1,087,275	—	1,087,275
営業費用	671,039	110,639	781,679	224,978	1,006,657
営業利益	340,850	△35,253	305,596	△224,978	80,617

b. 所在地別セグメント情報

当第1四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年6月30日）

本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び重要な在外支店がないため、該当事項はありません。

c. 海外売上高

当第1四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年6月30日）

海外売上高がないため該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

「参考資料」

前四半期に係る財務諸表等

(1) (要約) 四半期連結損益計算書

科目	前年同四半期 (平成20年3月期 第1四半期)
	金額(千円)
I 売上高	1,087,275
II 売上原価	144,937
売上総利益	942,337
III 販売費及び一般管理費	861,719
営業利益	80,617
IV 営業外収益	2,165
V 営業外費用	12
経常利益	82,770
VI 特別利益	—
VII 特別損失	79
税金等調整前四半期純利益	82,691
法人税、住民税及び事業税	3,827
法人税等調整額	10,685
四半期純利益	68,179

## (2) (要約) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	前年同四半期 (平成20年3月期 第1四半期)
区分	金額(千円)
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前第1四半期純利益	82,691
減価償却費	38,744
貸倒引当金の増加額(△減少額)	41
賞与引当金の増加額(△減少額)	△25,889
ポイント引当金の増加額(△減少額)	37
受取利息	△2,147
株式交付費	8
固定資産除却損	72
売上債権の増減額(△増加額)	△99,197
たな卸し資産の増減額(△増加額)	△2,403
仕入債務の増加額(△減少額)	57,218
未払消費税等の増加額(△減少額)	△20,058
その他流動資産の減少額(△増加額)	3,773
未払費用の増加額(△減少額)	△5,808
その他流動負債の増加額(△減少額)	47,539
その他固定資産の減少額(△増加額)	84
小計	74,707
利息の受取額	2,147
法人税等の支払額	△8,259
営業活動によるキャッシュ・フロー	68,595
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△8,848
無形固定資産の取得による支出	△56,328
事業の譲受による支出	△231,000
貸付による支出	△60,000
差入保証金の差入による支出	△2,938
投資活動によるキャッシュ・フロー	△359,115
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	
株式の発行による収入	1,141
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,141
IV 現金及び現金同等物の増加額(△減少額)	△289,377
V 現金及び現金同等物の期首残高	3,333,331
VI 現金及び現金同等物の期末残高	3,043,953

(3) セグメント情報

a. 事業の種類別セグメント情報

前年同四半期（平成20年3月期第1四半期）

	インターネット広告事業 (千円)	出版事業 (千円)	その他の事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高	802,941	208,948	75,385	1,087,275	—	1,087,275
営業費用	469,123	178,757	108,389	783,270	223,387	1,006,657
営業利益	306,818	30,190	△33,004	304,005	△223,387	80,617

b. 所在地別セグメント情報

前年同四半期（平成20年3月期第1四半期）

本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び重要な在外支店がないため、該当事項はありません。

c. 海外売上高

前年同四半期（平成20年3月期第1四半期）

海外売上高は連結売上高の10%未満であるため、海外売上高の記載を省略しております。